



尾道市立重井小学校教育研究構想

学校教育目標

確かな学力と豊かな心を備えた 心身共にたくましい児童(重井の健児)の育成

めざす子ども像

学び合い、
努力する子

豊かな心で
ふるさとを愛する子

健康を守り、
体力を伸ばす子

育てたい資質能力

- 聞く しっかり考える 自分の考えや思いを伝える
- 重井のことを知る かかわりをもつ 課題意識を持つ 郷土の一員としての意識

研究主題

「思考力・表現力」を育成する授業の創造

～「言語活動の充実」を図る指導の工夫を通して～

研究仮説

言語活動の充実を図る指導を工夫すれば、各教科における思考力と表現力を育成することができるであろう。

国語科を中心として

①言語活動の工夫

- ☆付きたい力、教材の特性、児童の実態をもとに設定
- 劇・ポスター・プレゼンテーション・クイズ・すごろく・リーフレット等

②読みの方法

- ☆「本文を抜き出す」「構造を捉える」「推理する」「評価する」

算数科を中心として

①数学的活動の工夫

- ☆課題解決の過程・結果を具体物、図、数、式、表、言葉を用いて思考・表現

②既習事項とのつながり

- ☆前学年・前単元・前時とのつながり

③構造的な板書

- ☆授業のポイントまとめ

基礎基本の定着

学習規律 朝読書 ドリルタイム 家庭学習 ふりかえり

授業実践

PDCA サイクルに基づいた授業改善
学年間や系統性を意識した校内研修